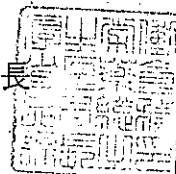




薬食総発0926第1号
平成24年9月26日

各
都道府県
保健所設置市
特別区
薬務主管部（局）長 殿

厚生労働省医薬食品局総務課長



「JAHIS電子版お薬手帳データフォーマット仕様書Ver.1.0」
の公開について（情報提供）

医薬行政の推進につきましては、平素から格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

お薬手帳は、調剤された医薬品等の名称、用法、用量その他必要に応じて服用に際して注意すべき事項を記録し、患者の薬剤服用歴を経時的に管理するための手帳です。お薬手帳を適切に活用することで、患者自らが医薬品等の服用状況を把握できるほか、医師や薬剤師が患者の服用歴を簡単に確認でき、副作用の防止や重複投与の回避につながると期待されています。他方で、お薬手帳を電子的に活用しようとする取組もあり、電子版お薬手帳を有効に利用するために、全国共通の標準フォーマットの策定が望まれていたところです。

今般、一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）より、電子版お薬手帳の一つのフォーマットとして、「電子版お薬手帳データフォーマット仕様書Ver.1.0」（別添）が公表されました。

つきましては、貴職におかれましては、本仕様書の内容を確認の上、貴管下薬局の他、貴管内の関係団体に対して、周知方お願いいたします。

なお、電子版お薬手帳は、紙媒体のお薬手帳に代わるものではないことにご留意ください。

【参考】

- 本仕様書は、同会のホームページにも掲載されています。

一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS) ホームページ

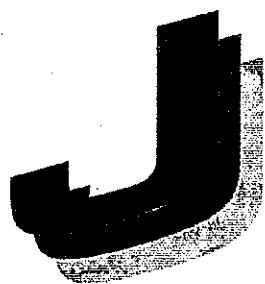
<http://www.jahis.jp/>

ホームページ>JAHIS標準>制定済み技術文書一覧

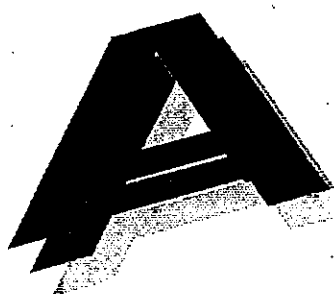
(別添)

JAHIS

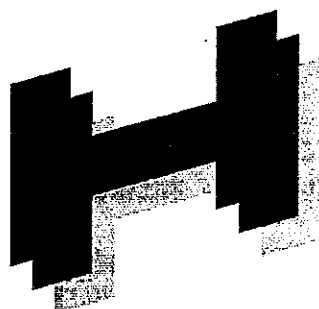
JAHIS技術文書 12-102



Japanese



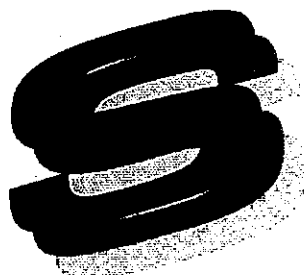
Association of



Healthcare



Information



Systems Industry

JAHIS

**電子版お薬手帳データフォーマット
仕様書**

Ver. 1.0

2012年9月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
医事コンピュータ部会 調剤システム委員会

JAHIS 電子版お薬手帳データフォーマット仕様書 Ver. 1. 0

まえがき

平成22年5月に高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部（IT戦略本部）により発表された「新たな情報通信技術戦略」では、その重点施策として「全国どこでも過去の診療情報に基づいた医療を受けられるとともに、個人が健康管理に取り組める環境を実現するため、国民が自らの医療・健康情報を電子的に管理・活用するための全国レベルの情報提供サービスを創出する。このため、第一段階として、個人が自らに対する調剤情報等を電子的に管理する仕組みを実現する。」とされている。その具体的な取り組みの1つとして「どこでもMY病院」構想が挙げられ、平成22年8月以降、IT戦略本部における医療情報化に関するタスクフォースにより、実現についての議論がされてきた。

「どこでもMY病院」構想においては、調剤情報等を表すものとして患者個人が管理する「お薬手帳」に着目しているが、電子的に管理する場合、標準化された情報を使用することが必要であり、「電子版お薬手帳」の情報の標準化が課題であった。

本仕様書は、JAHISが「電子版お薬手帳データフォーマット仕様書」としてそのデータセットを検討し、技術文書としてまとめたものである。

本仕様書が「どこでもMY病院」構想の推進、ひいては患者の医療安全の向上、保健医療福祉サービスの向上を目指す医療情報標準化に多少とも貢献できれば幸いである。

2012年9月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
医事コンピュータ部会 調剤システム委員会

<< 告知事項 >>

本仕様書は関連団体の所属の有無に関わらず、仕様書の引用を明示することで自由に使用することが出来るものとします。ただし一部の改変を伴う場合は個々の責任において行い、本仕様書に準拠する旨を表現することは厳禁するものとします。

本仕様書ならびに本仕様書に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本仕様書の作成者は何らの責任を負わないものとします。ただし、関連団体所属の正規の資格者は本仕様書についての疑義を作成者に申し入れることができ、作成者はこれに誠意をもって協議するものとします。

目 次

1. はじめに.....	1
2. 対象範囲.....	2
3. 留意事項.....	2
4. CSV 形式によるデータフォーマット仕様.....	3
4. 1 バージョン情報.....	3
4. 2 ファイルレイアウト.....	3
4. 2. 1 ファイル形式.....	3
4. 2. 2 データの型.....	3
4. 2. 3 コード.....	3
4. 2. 4 ASCII コード.....	3
4. 2. 5 注意事項等.....	4
4. 2. 6 レコード出力順.....	4
4. 2. 7 各種レコード情報.....	5
4. 2. 8 各種レコードレイアウト.....	6
4. 2. 9 補足.....	10
別表 各種コード表.....	11
付録1 お薬手帳イメージと出力データ例.....	13
付録2 作成者名簿.....	17

1. はじめに

平成22年8月以降、IT戦略本部において医療情報化に関するタスクフォースが設置され、全国どこでも自らの医療・健康情報を電子的に管理・活用することを可能にする「どこでもMY病院」構想についてその工程表が示され、実現についての議論がされてきた。

「どこでもMY病院」構想では、それを具体化するものとして、患者が使用している薬の内容や過去に処方された薬を含めて把握することで、重複投薬や相互作用の防止に寄与し、医療安全の向上に資すると考えられる「電子版お薬手帳」が挙げられている。「電子版お薬手帳」においては、医療機関・薬局から患者に提供される情報は全国どの医療機関・薬局からの情報であっても、個人が支障なく活用できるようにする必要がある。そのため、標準フォーマットを定めることが必要である。

このような状況を受けて、JAHISでは、医事コンピュータ部会 調剤システム委員会が中心となり医療システム部会の参画を得て、電子版お薬手帳のデータフォーマットの仕様を策定した。フォーマット策定の検討に当たっては、下記の基本的な考え方に基いている。

<基本的な考え方>

- ① どこでもMY病院構想では、情報提供の形態として「2次元バーコード」「ICカード搭載携帯電話」「ICカード」「オンライン」の4つが想定されていることから、本仕様書ではこれらで共通となるデータのフォーマットの策定のみを行うこととし、それぞれの情報提供形態による記録仕様についての策定は行わない。
- ② 2次元バーコードで患者に提供し、患者が2次元バーコードを携帯電話等で読み取ることにより管理する提供形態が考えられていることから、携帯電話での読み取りに支障がないようにするため、極力データ量を小さくすること。
- ③ 患者が2次元バーコードを携帯電話等で読み取って管理するにあたり、テキスト化されたデータを目視した時に、薬剤やその使用方法がある程度の範囲で判別できること。

本仕様書をまとめるにあたり、ご協力いただいた方々に心から感謝する。

2. 対象範囲

本仕様書は、紙媒体のお薬手帳の記載事項を電子化する際の仕様を提供するものである。ただし、基本的な考え方に示した通り、携帯電話での読み取りに支障がないようにするため、極力データ量を小さくしているため、紙媒体のお薬手帳の内容とは、必ずしも同一にならないことに留意する必要がある。

お薬手帳とは、患者が使用している薬剤を経時的に記録するための、患者の氏名、アレルギー歴、副作用歴、および既往歴等の情報を記載する欄を有する、患者が所有する薬剤の記録専用の手帳である。

現在、医療機関または薬局においては、患者が来院（もしくは来局）する毎に、調剤した薬剤の名称等を患者が所有する紙媒体のお薬手帳に記載している。

その考え方を踏襲し、本データは、医療機関もしくは薬局から患者に対して提供するものとした上で、そのユースケースとして「患者が医療機関に来院（もしくは薬局に来局）した際に、診療報酬等で評価されている紙媒体のお薬手帳への記載に加え、患者自身が自己の服薬管理等の目的で利用するために、電子版お薬手帳のデータを提供する」ことを想定している。

ー本データのユースケース例（薬局の場合）ー

①患者が処方せんを持参し来局。

②薬局では処方せんに基づき、調剤を行う。

③薬局では、調剤した薬剤名称等の情報を、患者の紙媒体のお薬手帳に記載する。

④「③」に合わせて、本データを調剤明細書等に2次元バーコードとして印字して患者に提供する。

⑤患者本人が提供されたデータを蓄積し、自分の現在使用している薬の情報、過去に処方された薬の情報、医療機関・薬局の受診履歴等の情報を管理し、医師や薬剤師に提示することで、重複投薬や相互作用を防止する。

また、どこでもMY病院構想においては、情報提供の形態として「2次元バーコード」「ICカード搭載携帯電話」「ICカード」「オンライン」が想定されているが、それぞれの情報提供の形態における記録または出力の仕様については、本仕様書の対象範囲外とする。例えば、お薬手帳データをQRコードで記録する場合の2次元シンボルのバージョンやICカードに記録する場合の記録エリアについての仕様については、本仕様書で規定するものではない。

さらに、本データは、医療機関の外来診療および薬局の調剤において、患者に医薬品を提供した場合に、患者に提供する電子版お薬手帳のデータとして検討した。よって医療機関による入院時の医薬品の提供については、検討時に考慮しておらず、本データの対象範囲外とする。

3. 留意事項

本仕様書を使用してアプリケーション等を開発するにあたっては、特に下記の点に留意すること。

- ① 電子版お薬手帳は、実際の紙媒体のお薬手帳に代わるものではない。よって患者が本仕様書に基づいたデータを参照できたとしても、現時点では、それにより医科診療報酬点数、歯科診療報酬点数、および調剤報酬点数が算定できるものではないこと。
- ② 紙媒体のお薬手帳においては、医科診療報酬点数、歯科診療報酬点数、および調剤報酬点数の算定要件として記載すべき項目が定められているものの、特定の書式や詳細な記載のルールが定まっているものではないことから、データ化により、実際に患者に渡される紙媒体のお薬手帳の情報を忠実に表現できない場合がある。そのため、本仕様書に基づいたデータを参照できる環境を提供したとしても、それが実際の紙媒体のお薬手帳に記載されているお薬の使用方法等を明示するものではないこと。

4. CSV 形式によるデータフォーマット仕様

4.1 バージョン情報

本仕様書は数字 2 桁のバージョン情報により管理を行うが、法・制度の改訂や市場の変化等により、本仕様書の内容に改訂の必要が生じた場合、一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会 医事コンピュータ部会 調剤システム委員会が検討し、内容の修正、追加、削除に問わずバージョン情報の数値を「1」上げることとする。また、バージョン情報を明確にするため、ファイル内の先頭行にバージョン情報を出力する。

なお、本仕様書「JAHIS 電子版お薬手帳データフォーマット仕様書 Ver. 1. 0」においては、バージョン情報は「JAHISTC01」とする（“JAHISTC01”を出力する）。

4.2 ファイルレイアウト

4.2.1 ファイル形式

タグ形式の MS-DOS テキストファイル（ASCII または Shift_JIS データ）

	レコード No.	デ ー タ						レコード終端	
バージョン情報		テキストデータ						CR	LF
情報	1	,	テキストデータ 1	,	テキストデータ 2	,	テキストデータ n	CR	LF
		(カンマ)		(カンマ)		(カンマ)			
	2	,	テキストデータ 1	,	テキストデータ 2	,	テキストデータ n	CR	LF
		(カンマ)		(カンマ)		(カンマ)			
	3	,	テキストデータ 1	,	テキストデータ 2	,	テキストデータ n	CR	LF
		(カンマ)		(カンマ)		(カンマ)			
	.	.	.	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ファイル終端	.	.	.	.	.	.	.	.	.
	EOF								

※ なお、QRコード等で独自にそのファイルサイズを管理している場合には、その情報内のファイル終端の EOF は省略可能とする。

4.2.2 データの型

型	説 明
9	数値
X	英数字、ピリオド
N	文字列（全角半角混在可）

4.2.3 コード

レコード No.	
型	9
バイト (MAX)	3

4.2.4 ASCII コード

code	ASCII
,	2Ch
CR	0Dh
LF	0Ah
EOF	1Ah

4.2.5 注意事項等

データを記録する際には、下記の事項に注意する。

項 目	内 容
使用制限文字	レセプト電算処理仕様に準拠（文字コードはJISX0201-1976の8単位符号及びJISX0208-1983 附属書1による） 半角カンマは区切り文字以外で使用しない。 特に薬品名称等で半角カンマを使用している場合は必ず全角カンマに置き換える。 全角「■（S-JIS 81A1）」は外字置き換え文字のため使用しない。
外字	外字は使用しない。可能な限り、JISX0201-1976の8単位符号及びJISX0208-1983 附属書1に規定されている文字に置き換えて記録することとし、置き換えができない場合は「■（S-JIS 81A1）」に変換し記録する。
引用符	ダブル及びシングルコーテーションで囲まない。
レコードの省略	レコードを省略する場合は、レコードの先頭（レコード No.）からレコード終端（CRLF）まで、何も出力しない。
項目の省略	項目を省略する場合は、空文字とする。 半角スペース、全角スペースは出力しない。
項目に含まれるスペース	項目の先頭と末尾の半角スペースおよび全角スペースは出力しない。

4.2.6 レコード出力順

以下のいずれかのパターンで出力する。

- ・パターン1（処方—医師レコードを出力する場合）

情報グループ	レコード No.	レコード名称
基本情報	1	患者情報レコード
	5	調剤年月日レコード
	11	調剤—医療機関等レコード
	15	調剤—医師・薬剤師レコード
処方—医療機関情報	51	処方—医療機関レコード
処方—医師情報 [1]	55	処方—医師レコード
処方情報 (1)		
薬品情報 ①	201	薬品レコード
	281	薬品補足レコード
薬品情報 ②	201	薬品レコード
	281	薬品補足レコード
薬品情報…		
用法情報	301	用法レコード
	311	用法補足レコード
処方情報 (2)		
処方情報…		
処方—医師情報 [2]		
処方—医師情報…		
備考情報	501	備考レコード

・パターン2（処方－医師レコードを出力しない場合）

情報グループ	レコード No.	レコード名称
基本情報	1	患者情報レコード
	5	調剤年月日レコード
	11	調剤－医療機関等レコード
	15	調剤－医師・薬剤師レコード
処方－医療機関情報	51	処方－医療機関レコード
処方情報（1）		
薬品情報 ①	201	薬品レコード
	281	薬品補足レコード
薬品情報 ②	201	薬品レコード
	281	薬品補足レコード
薬品情報…		
用法情報	301	用法レコード
	311	用法補足レコード
処方情報（2）		
処方情報…		
備考情報	501	備考レコード

4.2.7 各種レコード情報

各レコードの出力条件については、下記の表のとおり。

レコードNo.	レコード名称	レコード出力条件	同一No.レコード出力
	バージョンレコード	必須出力	不可
患者の情報			
1	患者情報レコード	省略可	不可
日付の情報			
5	調剤年月日レコード	必須出力	不可
調剤を行った医療機関等の情報			
11	調剤－医療機関等レコード	必須出力	不可
15	調剤－医師・薬剤師レコード	省略可	不可
処方を行った医療機関等の情報 ※薬局で調剤を行った場合のみ記録			
51	処方－医療機関レコード	必須出力	不可
処方を行った医師の情報 ※薬局で調剤を行った場合のみ記録			
55	処方－医師レコード	省略可	可
調剤情報			
201	薬品レコード	必須出力	1 R Pに複数レコード出力可
281	薬品補足レコード	省略可	1 薬品に複数レコード出力可
301	用法レコード	必須出力	1 R Pに1レコード
311	用法補足レコード	省略可	1 用法に複数レコード出力可
備考情報			
501	備考レコード	省略可	可

4.2.8 各種レコードレイアウト

必須:レコード出力時 ◎:必ず出力 無印:省略可

バージョンレコード (必須出力レコード 同一No.レコード出力不可)

No.	項目名称	型	桁数	バイト	必須	備 考
	バージョン情報	X	9	9	◎	“JAHISTC”+(バージョン 半角数字) ※9 桁固定とするため、バージョンが1 桁の場合は「0」を付加することとする。
有効レコード出力サンプル		バージョン2		JAHISTC02		
		バージョン1 2		JAHISTC12		

患者情報レコード (省略可レコード 同一No.レコード出力不可)

No.	項目名称	型	桁数	バイト	必須	備 考
1	患者氏名	N	20	40	◎	全角、半角の混在は不可 出来る限り姓と名の間に空白を1 桁入れて、それ以外の空白は詰めて記録 ※外国人の場合など姓と名の区別がない場合や、ミドルネームがある場合においては、この限りではなく、「空白なし」および「複数の空白」での記録も可とする。 ※患者氏名に外字が含まれる場合は、全てカナで記録する。
	患者性別	9	1	1		1:男、2:女
	患者生年月日	X	8	8		年月日 西暦:8 桁YYYYMMDD 和暦:7 桁GYMMDD 和暦の年号(G)は別表1「年号区分コード」を参照
有効レコード出力サンプル		漢字		1, 鈴木 太郎,		
		半角カナ		1, スズキ タロウ,		
		カナ		1, スズキ タロウ,,		
		性別		1, 鈴木 太郎, 1,		
		生年月日 (和暦)		1, 鈴木 太郎, 1, S330303		

調剤年月日レコード (必須出力レコード 同一No.レコード出力不可)

No.	項目名称	型	桁数	バイト	必須	備 考
5	調剤年月日	X	8	8	◎	西暦:8 桁YYYYMMDD 和暦:7 桁GYMMDD 和暦の年号(G)は別表1「年号区分コード」を参照 薬局が出力する場合は「調剤年月日」を記録し、医療機関が出力する場合は「処方年月日」を記録
有効レコード出力サンプル		西暦		5, 20110120		
		和暦		5, H230120		

調剤-医療機関等レコード (必須出力レコード 同一No.レコード出力不可)

No.	項目名称	型	桁数	バイト	必須	備 考
11	医療機関等名称	N	60	120	◎	医療機関名称 (全角半角混在可)
	医療機関都道府県	X	2	2	◎	医療機関の所在する都道府県コード (別表2) を記録
	医療機関点数表	X	1	1	◎	医療機関が使用する点数表コードを記録 (別表3 1:医科、3:歯科、4:調剤)
	医療機関コード	X	7	7	◎	医療機関について定められたコードを記録 0 から開始される場合は省略せず、7 桁固定で記録
有効レコード出力サンプル		種別以外 (薬局)		11, 株式会社 工業会薬局 駅前店, 13, 4, 1234567		

※健康保険以外の調剤でも、健康保険のコードを使用すること。

調剤－医師・薬剤師レコード（省略可レコード 同一No.レコード出力不可）

No.	項目名称	型	桁数	バイト	必須	備 考
15	医師・薬剤師氏名	N	20	40	◎	医師・薬剤師氏名（全角半角混在可） 出来る限り姓と名の間に空白を1桁入れて、それ以外の空白は詰めて記録 ※実際に調剤を行った薬剤師（診療所等で薬剤師が調剤を行っていない場合は医師）を記録する。
有効レコード出力サンプル						15, 工業会 次郎

処方－医療機関レコード（必須出力レコード 同一No.レコード出力不可） ※薬局の場合のみ記録

No.	項目名称	型	桁数	バイト	必須	備 考
51	医療機関名称	N	60	120	◎	医療機関名称（全角半角混在可）
	医療機関都道府県	X	2	2	◎	医療機関の所在する都道府県コード（別表2）を記録
	医療機関点数表	X	1	1	◎	医療機関が使用する点数表コードを記録（別表3 1:医科、3:歯科）
	医療機関コード	X	7	7	◎	医療機関について定められたコードを記録 0から開始される場合は省略せず、7桁固定で記録
有効レコード出力サンプル						51, 医療法人 工業会病院, 13, 1, 1234567

処方－医師レコード（省略可レコード（※1） 同一No.レコード出力可） ※薬局の場合のみ記録

No.	項目名称	型	桁数	バイト	必須	備 考
55	医師氏名	N	20	40	◎	医師氏名（全角半角混在可） 出来る限り姓と名の間に空白を1桁入れて、それ以外の空白は詰めて記録 当レコード以降、次に処方－医師レコードが出現するまでの間の「RP内 薬品情報グループ」「RP内 用法情報グループ」は、当レコードに記録された医師により処方されたとみなす。
	診療科名	N	40	80		診療科名（全角半角混在可）
有効レコード出力サンプル		診療科省略				55, 工業会 次郎,
		診療科出力				55, 工業会 次郎, 内科

※1:「4. 2. 6 レコード出力順」でパターン1の場合は、全ての処方－医師レコードを必ず出力する。
パターン2の場合は出力しない。

薬品レコード (必須出力レコード 1RPに複数レコード出力可)

No.	項目名称	型	桁数	バイト	必須	備考
201	RP 番号	9	3	3	◎	調剤した処方番号 (1~) ※必ずしも同一服用時点を同じ RP 番号にまとめる必要はない。
	薬品名称	N	40	80	◎	医薬品、医療材料、非保険薬 (全角半角混在可)
	用量	X	12	12	◎	内服:1 日量、内滴:全量、屯服:1 回量、外用:全量、注射:全量、浸煎薬:1 日量、湯薬:1 日量、材料:全量、その他:全量 ※浸煎薬・湯薬を屯服として調剤した場合は「1 回量」を記録する。 ※医療機関で浸煎薬・湯薬が判断できない場合は、内服または屯服として記録 ※医療機関で内服滴剤が判断できない場合は内服として記録 整数 6 桁+小数点+小数 5 桁 整数の前 ZERO 及び少数の後 ZERO は省略、小数 ZERO なら小数点も省略、整数 ZERO なら ZERO を 1 桁残す 最大桁数出力例: 123456.78901 整数のみ出力例: 100 小数のみ出力例: 0.25 混在出力例: 1.5
	単位名	N	6	12	◎	用量に伴った単位 (全角半角混在可)
	薬品コード種別	9	1	1	◎	1:コードなし、2:レプト電算コード、3:厚生省コード、4:YJコード、6:HOTコード
	薬品コード	X	13	13	◎	上記種別に対応した薬品コード 「薬品コード種別」が「1.コードなし」の場合は、省略する。
	有効コード出力サンプル	コード省略 レプト電算コード 名称出力 厚生省コード YJコード HOTコード 9 桁 医療材料 非保険薬 内服薬 (散剤) 内服薬 (散剤) 内服薬 (水剤) 外用薬 (貼付剤) 内服薬 (特殊シート) 内服薬 (特殊シート)				

薬品補足レコード (省略可レコード 1 薬品に複数レコード出力可)

No.	項目名称	型	桁数	バイト	必須	備 考
281	RP 番号	9	3	3	◎	該当レコード 201 の RP 番号をセット
	薬品補足情報	N	50	100	◎	薬品に掛かる補足情報を出力 (全角半角混在可)
有効コード出力サンプル		不均等服用				281, 1, 朝 1 錠、夕 2 錠
		1 回服用量				281, 1, 1 回 2 錠
		粉砕				281, 1, 粉砕

用法レコード (必須出力レコード 1 RP に 1 レコード出力)

No.	項目名称	型	桁数	バイト	必須	備 考
301	RP 番号	9	3	3	◎	該当レコード 201 の RP 番号をセット
	用法名称	N	50	100	◎ (※)	(全角半角混在可) ※薬局が出力する場合には、剤型コードが「材料」、「その他」の場合を除き必須出力とする。医療機関のシステムにおいて、出力が困難な場合は省略可とする。
	調剤数量	9	3	3	◎	内服:投与日数、内滴:「1」固定、屯服:投与回数、外用:「1」固定、注射「1」固定、浸煎薬:投与日数、湯薬:投与日数、材料:「1」固定、その他:「1」固定 ※浸煎薬・湯薬を屯服として調剤した場合は「投与回数」を記録する。 ※医療機関で浸煎薬・湯薬が判断できない場合は、内服または屯服として記録 ※医療機関で内服滴剤が判断できない場合は内服として記録
	調剤単位	N	50	100	◎	内服:日分、内滴:調剤、屯服:回分、注射:調剤、外用:調剤、浸煎:日分、湯薬:日分、材料:調剤、その他:調剤 ※浸煎薬・湯薬を屯服として調剤した場合は「回分」を記録する。 ※医療機関で浸煎薬・湯薬が判断できない場合は、内服または屯服として記録 ※医療機関で内服滴剤が判断できない場合は内服として記録
	剤型コード	X	2	2	◎	該当する剤型コード (別表 4) を記録 非保険薬、保険外あるいは医療機関で剤型が判断できない場合は「10.その他」として記録 ※医療機関で浸煎薬・湯薬が判断できない場合は、内服または屯服として記録 ※医療機関で内服滴剤が判断できない場合は内服として記録
	用法コード種別	9	1	1	◎	1:コードなし, 2:JAMI 用法コード(※), 3~:将来統一コードを想定 ※「JAMI 用法コード」とは日本医療情報学会標準である“処方オーダーリングシステム用標準用法 「服用回数、服用のタイミングに関する標準用法マスタ」 (内服および外用編)”にて定められたコード体系である。
	用法コード	X	16	16	◎	上記種別に対応した用法コード 「用法コード種別」が「1.コードなし」の場合は省略する。
有効コード出力サンプル		内服				301, 1, 毎食後服用, 3, 日分, 1, 1,
		外用				301, 1, 右足に塗布, 1, 調剤, 5, 1,
		材料				301, 1, 1, 調剤, 9, 1,
		保険外				301, 1, 1, 調剤, 10, 1,

用法補足レコード (省略可レコード 1用法に複数レコード出力可)

No.	項目名称	型	桁数	バイト	必須	備 考
311	RP 番号	9	3	3	◎	該当レコード 201 の RP 番号をセット
	用法補足情報	N	50	100	◎	用法に掛かる補足情報を出力 (全角半角混在可)
	有効レコード出力サンプル	漸減				311, 1, R P 1 服用後
		一包化				311, 1, 一包化
		隔日				311, 1, 奇数日
		粉碎				311, 1, 粉碎
		用法の続き				311, 1, 透析日に服用
		部位				311, 1, 両眼
		1回使用量				311, 1, 1 滴

備考レコード (省略可レコード 同一No.レコード出力可)

No.	項目名称	型	桁数	バイト	必須	備 考
501	備考情報	N	200	400	◎	出力内容は特に制限しない。(全角半角混在可)
有効レコード出力サンプル	コメント					501, 正しい飲み方は薬袋等をご覧ください。
	薬局HP					501, http://www.xxxpharmacy.com/top/index.html

4.2.9 補足

RP 番号について

本仕様書における RP 番号とは、いわゆる「処方番号」であり、処方指示ごとに異なる番号を 1 から順に付与する。

同じ RP 番号が付与されている全ての薬品レコード (レコード No.201) については、同じ RP 番号が付与されている用法レコード (レコード No.301) により表わされる用法および調剤数量 (日数・回数等) が示される。

但し、薬品補足レコード (レコード No.281) 及び用法補足レコード (レコード No.311) は省略可レコード扱いとなっており、必要に応じて記録するものである。

RP 番号の使用例

コリアンカブセル5mg	4 C
フェロヘリン配合錠	4 錠
【分2 朝夕食後服用】	×5 日分
アドソルビン原末	1.5 g
タナルビン「ビヤマ」	1.5 g
レニン散	2 g
【分3 毎食後服用】	×5 日分

[RP番号:1] (1つ目の処方)

201, 1, コリアンカブセル5mg, 4, C, 1, CL_{RF}
 201, 1, フェロヘリン配合錠, 4, 錠, 1, CL_{RF}
 301, 1, 【分2 朝夕食後服用】, 5, 日分, 1, 1, CL_{RF}

[RP番号:2] (2つ目の処方)

201, 2, アドソルビン原末, 1.5, g, 1, CL_{RF}
 201, 2, タナルビン「ビヤマ」, 1.5, g, 1, CL_{RF}
 201, 2, レニン散, 2, g, 1, CL_{RF}
 301, 2, 【分3 毎食後服用】, 5, 日分, 1, 1, CL_{RF}

別表 各種コード表

別表1 年号区分コード

コード名	コード	内 容
年号区分コード	M	明 治
	T	大 正
	S	昭 和
	H	平 成

別表2 都道府県コード

コード名	コード	内 容
都道府県コード	01	北海道
	02	青森
	03	岩手
	04	宮城
	05	秋田
	06	山形
	07	福島
	08	茨城
	09	栃木
	10	群馬
	11	埼玉
	12	千葉
	13	東京
	14	神奈川
	15	新潟
	16	富山
	17	石川
	18	福井
	19	山梨
	20	長野
	21	岐阜
	22	静岡
	23	愛知
	24	三重
	25	滋賀
	26	京都
	27	大阪
	28	兵庫
	29	奈良
	30	和歌山
	31	鳥取
	32	島根
	33	岡山
	34	広島
	35	山口
	36	徳島
	37	香川

	38	愛媛
	39	高知
	40	福岡
	41	佐賀
	42	長崎
	43	熊本
	44	大分
	45	宮崎
	46	鹿児島
	47	沖縄

別表3 点数表コード

コード名	コード	内 容
点数表コード	1	医科
	3	歯科
	4	調剤

別表4 剤型コード

コード名	コード	内 容
剤型コード	1	内服
	2	内滴
	3	屯服
	4	注射
	5	外用
	6	浸煎
	7	湯薬
	9	材料
	10	その他

付録1 お薬手帳イメージと出力データ例

例1：薬局で出力（内服薬のみの場合）

お薬手帳イメージ

2012/07/17 鈴木 太郎さんのお薬	
医療法人 工業会病院	
コリアンカブセル5mg	4 C
フェロヘリン配合錠	4 錠
【分2 朝夕食後服用】	×5 日分
アドソルビン原末	1.5 g
タナルビン「ヒヤマ」	1.5 g
レベニン散	2 g
【分3 毎食後服用】	×5 日分
株式会社 工業会薬局 駅前店	

出力データ例

JAHISTC01 ^{CL} _{RF}
1, 鈴木 太郎, 1, S330303 ^{CL} _{RF}
5, H240717 ^{CL} _{RF}
11, 株式会社 工業会薬局 駅前店, 13, 4, 1234567 ^{CL} _{RF}
51, 医療法人 工業会病院, 13, 1, 1234567 ^{CL} _{RF}
201, 1, コリアンカブセル5mg, 4, C, 1, ^{CL} _{RF}
201, 1, フェロヘリン配合錠, 4, 錠, 1, ^{CL} _{RF}
301, 1, 【分2 朝夕食後服用】, 5, 日分, 1, 1, ^{CL} _{RF}
201, 2, アドソルビン原末, 1.5, g, 1, ^{CL} _{RF}
201, 2, タナルビン「ヒヤマ」, 1.5, g, 1, ^{CL} _{RF}
201, 2, レベニン散, 2, g, 1, ^{CL} _{RF}
301, 2, 【分3 毎食後服用】, 5, 日分, 1, 1, ^{CL} _{RF}

例2：薬局で出力（内服薬以外を含む場合）

お薬手帳イメージ

2012/07/17 鈴木 太郎さんのお薬	
医療法人 工業会病院	
コリアンカブセル5mg	6 C
フェロヘリン配合錠	6 錠
【分3 毎食後服用】	×5 日分
アドソルビン原末	1.5 g
タナルビン「ヒヤマ」	1.5 g
レベニン散	2 g
【分3 毎食後服用】	×5 日分
イジソナーゲル液7%	60 ml
【1日3～4回 うがい】	×1 調剤
ペンシル40R注 300単位	2 筒
【1日2回 朝14単位 夕6単位】	×1 調剤
ペンニードル	60 本
	×1 調剤
容器	1個
	×1 調剤
株式会社 工業会薬局 駅前店	

出力データ例

JAHISTC01 ^{CL} _{RF}
1, 鈴木 太郎, 1, 19580303 ^{CL} _{RF}
5, H240717 ^{CL} _{RF}
11, 株式会社 工業会薬局 駅前店, 13, 4, 1234567 ^{CL} _{RF}
51, 医療法人 工業会病院, 13, 1, 1234567 ^{CL} _{RF}
201, 1, コリアンカブセル5mg, 6, C, 1, ^{CL} _{RF}
201, 1, フェロヘリン配合錠, 6, 錠, 1, ^{CL} _{RF}
301, 1, 【分3 毎食後服用】, 5, 日分, 1, 1, ^{CL} _{RF}
201, 2, アドソルビン原末, 1.5, g, 1, ^{CL} _{RF}
201, 2, タナルビン「ヒヤマ」, 1.5, g, 1, ^{CL} _{RF}
201, 2, レベニン散, 2, g, 1, ^{CL} _{RF}
301, 2, 【分3 毎食後服用】, 5, 日分, 1, 1, ^{CL} _{RF}
201, 3, イジソナーゲル液7%, 60, ml, 1, ^{CL} _{RF}
301, 3, 【1日3～4回 うがい】, 1, 調剤, 5, 1, ^{CL} _{RF}
201, 4, ペンシル40R注 300単位, 2, 筒, 1, ^{CL} _{RF}
301, 4, 【1日2回 朝14単位 夕6単位】, 1, 調剤, 4, 1, ^{CL} _{RF}
201, 5, ペンニードル, 60, 本, 1, ^{CL} _{RF}
301, 5, , 1, 調剤, 9, 1, ^{CL} _{RF}
201, 6, 容器, 1, 個, 1, ^{CL} _{RF}
301, 6, , 1, 調剤, 10, 1, ^{CL} _{RF}

例3：薬局で出力（医師情報および薬品補足情報、用法補足情報を含む場合）

お薬手帳イメージ

2012/07/17 鈴木 太郎さんのお薬	
医療法人 工業会病院	
工業会 次郎	
コリハ [®] カブ [®] セル5mg	6 C
朝：3 C、昼：2 C、夕：1 C	
フレバ [®] リ [®] 配合錠	6 錠
朝：1 錠、昼：3 錠、夕：2 錠	
【分3 毎食後服用】	×5 日分
一包化	
アドソル [®] ビン [®] 原末	1.5 g
タナリ [®] ン [®] 「ビヤマ」	1.5 g
レ [®] ニン散	2 g
【分3 毎食後服用】	×5 日分
イジ [®] ンガ [®] ール液7%	60 ml
【1日3～4回 うがい】	×1 調剤
ベン [®] フィル40R注 300単位	2 筒
【1日2回 朝14単位 夕6単位】	×1 調剤
ベン [®] ニードル	60 本
	×1 調剤
容器	1個
	×1 調剤
株式会社 工業会薬局 駅前店	
薬剤師 太郎	

出力データ例

JAHISTC01^{CL}_{RF}
 1, 鈴木 太郎, 1, 19580303^{CL}_{RF}
 5, H240717^{CL}_{RF}
 11, 株式会社 工業会薬局 駅前店, 13, 4, 1234567^{CL}_{RF}
 15, 薬剤師 太郎^{CL}_{RF}
 51, 医療法人 工業会病院, 13, 1, 1234567^{CL}_{RF}
 55, 工業会 次郎, ^{CL}_{RF}
 201, 1, コリハ[®]カブ[®]セル5mg, 6, C, 2, 620004992^{CL}_{RF}
 281, 1, 朝：3 C、昼：2 C、夕：1 C^{CL}_{RF}
 201, 1, フレバ[®]リ[®]配合錠, 6, 錠, 2, 620425801^{CL}_{RF}
 281, 1, 朝：1 錠、昼：3 錠、夕：2 錠^{CL}_{RF}
 301, 1, 【分3 毎食後服用】, 5, 日分, 1, 1, ^{CL}_{RF}
 311, 1, 一包化^{CL}_{RF}
 201, 2, アドソル[®]ビン[®]原末, 1.5, g, 2, 620008284^{CL}_{RF}
 201, 2, タナリ[®]ン[®]「ビヤマ」, 1.5, g, 2, 612370121^{CL}_{RF}
 201, 2, レ[®]ニン散, 2, g, 2, 620007148^{CL}_{RF}
 301, 2, 【分3 毎食後服用】, 5, 日分, 1, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 3, イジ[®]ンガ[®]ール液7%, 60, ml, 2, 620008969^{CL}_{RF}
 301, 3, 【1日3～4回 うがい】, 1, 調剤, 5, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 4, ベン[®]フィル40R注 300単位, 2, 筒, 2, 620008935^{CL}_{RF}
 301, 4, 【1日2回 朝14単位 夕6単位】, 1, 調剤, 4, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 5, ベン[®]ニードル, 60, 本, 1, ^{CL}_{RF}
 301, 5, 1, 調剤, 9, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 6, 容器, 1, 個, 1, ^{CL}_{RF}
 301, 6, 1, 調剤, 10, 1, ^{CL}_{RF}
 501, 正しい飲み方は薬袋等をご覧ください。^{CL}_{RF}

例4：薬局で出力（複数診療科での出力の場合）

お薬手帳イメージ

2011/01/20 鈴木 太郎さんのお薬	
医療法人 工業会病院	
内科 工業会 次郎	
コリハ [®] ンカ [®] セル5mg	6 C
フェロ [®] リン配合錠	6 錠
【分3 毎食後服用】	×5 日分
アト [®] ソル [®] ン原末	1.5 g
タナ [®] ル [®] ビ [®] ン「ヒヤマ」	1.5 g
レ [®] ニ [®] 散	2 g
【分3 毎食後服用】	×5 日分
イ [®] ジ [®] ン [®] ガ [®] ール液7%	60 ml
【1日3～4回 うがい】	×1 調剤
ベン [®] フィル40R注 300単位	2 筒
【1日2回 朝14単位 夕6単位】	×1 調剤
ベン [®] ニ [®] ドル	60 本
	×1 調剤
皮膚科 佐藤 三郎	
リン [®] テ [®] ロン [®] -VG軟膏0.12%	10g
【患部に塗布】	×1 調剤
容器	1個
	×1 調剤
株式会社 工業会薬局 駅前店	
薬剤師 太郎	

出力データ例

JAHISTC01^{CL}_{RF}
 1, 鈴木 太郎, 1, 19580303^{CL}_{RF}
 5, H230120^{CL}_{RF}
 11, 株式会社 工業会薬局 駅前店, 13, 4, 1234567^{CL}_{RF}
 15, 薬剤師 太郎^{CL}_{RF}
 51, 医療法人 工業会病院, 13, 1, 1234567^{CL}_{RF}
 55, 工業会 次郎, 内科^{CL}_{RF}
 201, 1, コリハ[®]ンカ[®]セル5mg, 6, C, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 1, フェロ[®]リン配合錠, 6, 錠, 1, ^{CL}_{RF}
 301, 1, 【分3 毎食後服用】, 5, 日分, 1, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 2, アト[®]ソル[®]ン原末, 1.5, g, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 2, タナ[®]ル[®]ビ[®]ン「ヒヤマ」, 1.5, g, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 2, レ[®]ニ[®]散, 2, g, 1, ^{CL}_{RF}
 301, 2, 【分3 毎食後服用】, 5, 日分, 1, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 3, イ[®]ジ[®]ン[®]ガ[®]ール液7%, 60, ml, 1, ^{CL}_{RF}
 301, 3, 【1日3～4回 うがい】, 1, 調剤, 5, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 4, ベン[®]フィル40R注 300単位, 2, 筒, 1, ^{CL}_{RF}
 301, 4, 【1日2回 朝14単位 夕6単位】, 1, 調剤, 4, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 5, ベン[®]ニ[®]ドル, 60, 本, 1, ^{CL}_{RF}
 301, 5, 1, 調剤, 9, 1, ^{CL}_{RF}
 55, 佐藤 三郎, 皮膚科^{CL}_{RF}
 201, 6, リン[®]テ[®]ロン[®]-VG軟膏0.12%, 10, g, 1, ^{CL}_{RF}
 301, 6, 【患部に塗布】, 1, 調剤, 5, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 7, 容器, 1, 個, 1, ^{CL}_{RF}
 301, 7, 1, 調剤, 10, 1, ^{CL}_{RF}
 501, 正しい飲み方は薬袋等をご覧ください。^{CL}_{RF}

例5：医療機関で出力（用法出力ありの場合）

お薬手帳イメージ

2012/07/17 鈴木 太郎さんのお薬	
コリバンガ [®] セル5mg	4 C
フェロヘリン配合錠	4 錠
【分2 朝夕食後服用】	×5 日分
アドソルビン原末	1.5 g
タナルビン「ヒヤマ」	1.5 g
レベニ散	2 g
【分3 毎食後服用】	×5 日分
医療法人 工業会病院	

出力データ例

JAHISTC01^{CL}_{RF}
 1, 鈴木 太郎, 1, S330303^{CL}_{RF}
 5, H240717^{CL}_{RF}
 11, 医療法人 工業会病院, 13, 1, 1234567^{CL}_{RF}
 201, 1, コリバンガ[®]セル5mg, 4, C, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 1, フェロヘリン配合錠, 4, 錠, 1, ^{CL}_{RF}
 301, 1, 【分2 朝夕食後服用】, 5, 日分, 1, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 2, アドソルビン原末, 1.5, g, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 2, タナルビン「ヒヤマ」, 1.5, g, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 2, レベニ散, 2, g, 1, ^{CL}_{RF}
 301, 2, 【分3 毎食後服用】, 5, 日分, 1, 1, ^{CL}_{RF}

例6：医療機関で出力（用法出力なしの場合）

お薬手帳イメージ

2012/07/17 鈴木 太郎さんのお薬	
コリバンガ [®] セル5mg	4 C
フェロヘリン配合錠	4 錠
	×5 日分
アドソルビン原末	1.5 g
タナルビン「ヒヤマ」	1.5 g
レベニ散	2 g
	×5 日分
医療法人 工業会病院	

出力データ例

JAHISTC01^{CL}_{RF}
 1, 鈴木 太郎, 1, S330303^{CL}_{RF}
 5, H240717^{CL}_{RF}
 11, 医療法人 工業会病院, 13, 1, 1234567^{CL}_{RF}
 201, 1, コリバンガ[®]セル5mg, 4, C, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 1, フェロヘリン配合錠, 4, 錠, 1, ^{CL}_{RF}
 301, 1, 5, 日分, 1, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 2, アドソルビン原末, 1.5, g, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 2, タナルビン「ヒヤマ」, 1.5, g, 1, ^{CL}_{RF}
 201, 2, レベニ散, 2, g, 1, ^{CL}_{RF}
 301, 2, 5, 日分, 1, 1, ^{CL}_{RF}

付録2 作成者名簿

作成者 (社内五十音順)

大森 政明	(株)EMシステムズ
榎本 茂輝	カシオ情報機器(株)
田村 幸典	(株)シグマソリューションズ
安田 智暁	(株)システムヨシイ
小池 裕子	(株)ズー
春原 博美	(株)ズー
阿部 直光	高園産業(株)
松本 京子	高園産業(株)
森脇 重行	(株)東名トスメック
西川 福好	日本事務器(株)
島添 稔剛	ニューソン(株)
南木野 龍章	ニューソン(株)
芝野 太一	(株)ネグジット総研
武井 心彩	パナソニック ヘルスケア(株)
竹中 裕三	パナソニック ヘルスケア(株)
野本 楨	東日本メディコム(株)
清水 克彦	日立メディカルコンピュータ(株)
濱田 悟	日立メディカルコンピュータ(株)
宮島 毅	三菱電機インフォメーションシステムズ(株)
守屋 和昭	三菱電機インフォメーションシステムズ(株)
加藤 明	(株)ユニケソフトウェアリサーチ
矢口 優	(株)ユニケソフトウェアリサーチ
石原 淳一郎	(株)両毛システムズ
井田 和秀	(株)両毛システムズ

検討メンバ

医療システム部会 代表メンバ (社内五十音順)

岡田 康	東芝医療情報システムズ(株)
宮部 修平	日本電気(株)
下邨 雅一	富士通(株)
茗原 秀幸	三菱電機(株)

医事コンピュータ部会医科システム委員会メンバ (社内五十音順)

清水 力	(株)NTTデータ
西口 妙子	日本電気(株)
中村 有一郎	パナソニック ヘルスケア(株)
野村 英行	(株)日立製作所
森 昌彦	富士通(株)
竹井 和浩	富士通(株)

医事コンピュータ部会歯科システム委員会メンバ (社内五十音順)

森野 國男	(株)アキラックス
大倉 慈	(株)ノーザ
多貝 浩行	(株)モリタ

運営幹事 (医療システム部会担当)

野々村 辰彦	富士通(株)
--------	--------

運営幹事 (医事コンピュータ部会担当)

平井 健二	(株)NTTデータ
-------	-----------

改定履歴		
日付	バージョン	内容
2012/9/11	Ver. 1.0	初版

(JAHIS技術文書 12-102)

2012年9月発行

JAHIS電子版お薬手帳データフォーマット仕様書Ver. 1.0

発行元 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
〒105-0004 東京都港区新橋2丁目5番5号
(新橋2丁目MTビル5階)

電話 03-3506-8010 FAX 03-3506-8070

(無断複写・転載を禁ず)

